

第7章 その他の諸外国の読書活動

1. デンマーク王国の読書活動

上原友紀子（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

（1）読書推進の背景

はじめに、デンマークにおける、読書指導の必要性について述べる。デンマークは高福祉国家として知られており、教育にも非常に力が入れている。デンマークの教育への投資はGNPの8.2%を占め（同時期日本は3.7%）、2006年時点では世界でトップであり⁽¹⁾、識字率も男女ともに99%⁽²⁾と非常に高い。しかしながら2000年に実施されたPISA調査において、デンマークの成績はおしなべて平均点前後の成績に留まり、この結果は教育関係者に「PISAショック」として受け止められた。更にこれに併せて、EUの要請及び経済的要請に対応する目的もあり、デンマークでは漸進的な教育改革が実行されている⁽³⁾。そこで本稿においては、デンマークにおける「読み」に関わる政策及び取組について調査した。2007年、デンマークの教育省は、知識社会に適応する人材育成を目標に定める報告書“Denmark’s strategy for lifelong learning”を公刊した。これは、「生涯学習」の名のもとに、就学前教育、義務教育、中等後教育における職業訓練、高等教育、そして教養教育や余暇活動を含む生涯学習をカバーする、全体的な教育政策の方向性を示したものである⁽⁴⁾。この中で掲げられている「ワールドクラスの教育」のための方策の一つとして、就学前教育に関する内容が述べられており、その中でデンマーク語による「読書」のカリキュラムの導入も挙げられている。デンマーク統計局の報告から1980年と2005年とを比較すると、全人口の内の8.4%を占める移民の内、大半が「非西洋諸国」からの移民であることが分かる。このいわゆる「目に見える移民(visible immigrants)」の存在が、様々な社会問題において感情的に議論される素地を作っていると考えられる⁽⁵⁾。このため、言語的問題を含むマイノリティ住民とマジョリティ住民の統合(integration)は北欧社会における最大の政治的・社会的課題となっており⁽⁶⁾、教育や図書館政策の基本的指針に影響を与えている。このことから、デンマークのすべての図書館サービスは住民の「情報への平等なアクセス」という理念に基づいている。この理念を実現するために、情報のアクセスに相対的に不利益を被っている社会的・文化的・民族的マイノリティに配慮し

(1) 興津秀憲 第3章 デンマークの教育行政について

(2) Europe :: Denmark THE WORLD FACT BOOK
<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/da.html#People>
(2012年10月18日閲覧)

(3) 谷雅恭・青木真理 デンマークの教育改革 福島大学地域創造, 18(2), 2007年, Pp. 28-37.

(4) 坂口緑 現代デンマークの生涯学習政策：多文化化という課題 明治学院大学社会学・社会福祉学研究, 137, 2012年, Pp. 1-18.

(5) (4)と同じ

(6) 吉田右子 北欧におけるマイノリティ住民への図書館サービス：デンマークとスウェーデンを中心に 図書館界, 59(3), 2007年, Pp. 174-187.

たサービスを常に実施し、マジョリティ中心になりがちなサービスのバランスを保ち、情報アクセスの平等性を確保しようと努めているのである⁽⁷⁾。

(2) 公共図書館の位置づけ

デンマークの公共図書館の最大の特徴は、生涯学習を公共図書館の理念として掲げ、コミュニティ住民の情報への公平なアクセスを確保するための活動を、一貫して行ってきたことにある。その結果デンマークでは図書館間のネットワークが整備され、居住区がどこであっても平等な図書館サービスを受けることができる。2点目の特徴は、公共図書館が公的サービスとして確固たる位置づけを持ち、図書館サービスの公的財源と専門職制を揺るぎないものになっていること、さらに市民がそのことを支持している点である。3点目にデンマークの図書館法は1920年に制定されて以来、定期的に改正され、同法に厳密に沿って実際の活動が展開されている点である。上記の特長によりデンマークは北欧諸国のなかで最も成熟した図書館制度を持つ国と言われている⁽⁸⁾。近年では2000年5月に図書館法改正案を可決し、名称も従来の「公共図書館法」から「図書館サービス法」へと改正された。この改正における大きな特徴の内から、上述した3点の内1, 2点目に関連する改正点⁽⁹⁾を紹介する。

① コミュニティ住民の情報への公平なアクセスを確保するための活動について

国立図書館、大学図書館およびその他の研究図書館をも図書館法の適用範囲に含めた。つまり、これらの図書館は第一義的には研究者や学生に対するサービスをその任務とするが、任務に支障のない範囲では図書館間貸出等を通じて一般国民に対するサービスをも行うとしたことを意味する。

② 公共図書館の位置づけ及び新たなサービスについて

図書館が料金を取って特別なサービスを提供する機会を拡大した(サービスの内容については3-(2)節にて詳述)。ただし、あくまでも図書館の利用は料金無料が原則である。また、違反行為に対する罰則を強化した。たとえば延滞料の徴収において給与差し押さえの強制執行が可能である。これは、公共物における他人の権利の不当な侵害に対するペナルティと捉えられる。

(3) 公共図書館の取組及び活動

① 電子書籍貸出サービス“eReolen⁽¹⁰⁾”⁽¹¹⁾

⁽⁷⁾ 吉田右子 北欧のコミュニティと公共図書館：デンマーク カレントアウェアネス・ポータル, 295, 2008年(2012年10月22日閲覧)

⁽⁸⁾ (7)と同じ

⁽⁹⁾ 井田敦彦 デンマークの図書館法改正 カレントアウェアネス・ポータル, 261, <http://current.ndl.go.jp/ca1390>, 2001年(2012年10月18日閲覧)

⁽¹⁰⁾ <http://biblioteket.horsholm.dk/Netmedier/eReolen>(2012年10月18日閲覧) ※デンマーク語のみで他言語へは対応していない。

⁽¹¹⁾ デンマークの公共図書館での電子書籍貸出サービス“eReolen” カレントアウェアネス・ポータル, <http://current.ndl.go.jp/node/19618>(2012年10月18日閲覧)

2011年11月から開始されたサービスで、デンマークの53の出版社の1,800タイトルが対象となっている。開始からの約1ヶ月間で、6,000人の利用者が9,600回利用した。貸出が行われるたび、図書館から出版社に使用料が支払われることになっており、新刊は18.5クローネ、1年以上経った本は15クローネと設定されている。貸出期間や制限冊数は図書館が決定する。「試す」「買う」「借りる」ボタンがあり、この画面から購入された場合、利益は図書館と出版社に均等に分配されるが、出版社からは権利を侵害するものとして反対意見もある。78の公共図書館が加盟している。

(※本節の数値に関しては、⁽¹¹⁾における2011年11月29日時点での情報である。)

② 新たな有料サービス⁽¹²⁾

「図書館サービス法」への改正により有料サービスを提供する機会は拡大されたもののその具体例に関しては規定がないため、各々の図書館が市場のニーズに即したサービスを考案する必要がある。これらのサービスは例えばコンサルタント、ウェブデザイン、データベース開発支援、ビジネス情報調査、ナレッジマネジメント、チェンジマネジメント、マーケティング、教育カリキュラムの開発、遠隔研修、施設の貸与、専門図書館機能の代行、貸出期限の早期お知らせサービスなど多岐に亘るが、図書館・公的機関を主なターゲットにしているという点に大きな特徴がある。

しかし、デンマーク王立図書館の推計によれば、2002年にデンマークの全公共図書館で有料サービスから生み出された収入の合計は、約300～400万DKK（デンマーク・クローネ：約5,460万～7,280万円）であった。これは、1999年から2003年の間に6千万DKK（約11億円）の図書館収入増加を目指すという国家方針からすると小さい数値である。しかしこの有料サービスに関しては、財政的価値よりも、図書館員の能力開発、モチベーションの維持、やりがいの創出といった側面から重要な意味を持つものとして捉えられている。

③ エスニック・マイノリティに対するサービス⁽¹³⁾

前述したように多文化化しているデンマークでは古くから、エスニック・マイノリティのための図書館サービスを行っている。デンマークには、デンマーク全域の公共図書館のための国立の資料センターとして「デンマーク総合図書館センター(Biblioteks Center for Integration)⁽¹⁴⁾」があり、この機関が図書館運営全般に関わるサービスを行っている。エスニック・マイノリティに対するサービスの具体例としては、言語的マイノリティに対する公共図書館サービスを促進するための支援(資料収集、目録作業、逐次刊行物の選択方法に関するアドバイス)や、多言語図

⁽¹²⁾ 岡田悟 デンマークの公共図書館における新たな有料サービス カレントアウェアネス・ポータル, 282, <http://current.ndl.go.jp/ca1539>, 2004年(2012年10月18日閲覧)

⁽¹³⁾ 堤恵 北欧の移民・難民への図書館サービス：スウェーデンとデンマークの事例から カレントアウェアネス・ポータル, 287, <http://current.ndl.go.jp/ca1585>(2012年10月22日閲覧)

⁽¹⁴⁾ STATS BIBLIOTEKET <http://www.statsbiblioteket.dk/forbiblioteker/sbci>(2012年10月22日閲覧) ※英語サイトは<http://en.statsbiblioteket.dk/>

書館サービスのためのアドバイスと情報の提供などが挙げられる⁽¹⁵⁾。

具体的事例として、図書館サービスへの IT 活用で注目されるオーフス公共図書館の取組を紹介する。オーフス公共図書館の最大の特徴は IT に重点を置いたサービスの展開である。IT の目覚ましい進歩に伴い、デンマークでは情報利用に長けることが、社会で生き抜くための重要な条件となっている。移民・難民は不利な立場に置かれることが多く、その状況を打破する手助けとして、図書館が移民・難民に IT を学ぶ機会を提供し、彼らに力をつけさせようというのがサービスのねらいである。(併せて、移民に対するサービスとして、3-(5)-③節を参照のこと)

④ 資料の電子化⁽¹⁶⁾

2012 年より、デンマーク書誌センター(DBC : Danish Bibliography Center)によって、デンマーク全国書誌(Danish National Bibliography)が Linked Open Data として公開されています⁽¹⁷⁾。第一段階として公開されたのは、2010 年以降の書籍の書誌データ及びそれに対応する典拠のデータで、今後、動画や音楽などの別の資料群にも広げ、対象年を 2000 年以降に広げる予定とされている。

⑤ 図書館設備及び催し⁽¹⁸⁾

ア. 利用者に応じたスペースの区分け

基本的には静かでなくてはならないという制約は緩く、来館した利用者同士が自由におしゃべりする空間になっている。飲食の持ち込みも許されており、ランチを取りながら長居する人も多い。多くの図書館には「静寂コーナー」が設けられ、空間を区別している。

イ. 児童書コーナー

図書館の児童書コーナーには漫画があり、ゲームのコーナーも設けられている。漫画とゲームが子どもたちの間で広く人気があるのに、これを買って遊べる子供と遊べない子供がいるのは不公平である、という考え方に基づいている。

ウ. 児童を対象とした取組

図書館内に「宿題カフェ」というコーナーが設置されており、移民の子どもたちへの学習支援を行う。またこのサービスは、デンマーク語の読み書きが不自由な大人に対してもサポートや就業支援を実施している図書館もある。

⁽¹⁵⁾ (6)と同じ

⁽¹⁶⁾ デンマーク全国書誌が Linked Open Data として公開される カレントアウェアネス、<http://current.ndl.go.jp/node/22008>(2012年10月22日閲覧)

⁽¹⁷⁾ <http://oss.dbc.dk/plone/linked-data>(2012年10月22日閲覧)

⁽¹⁸⁾ 吉田右子 デンマークのにぎやかな公共図書館—平等・共有・セルフヘルプを実現する場所— 2010年 新評論

2. ドイツ連邦共和国の読書活動

上原友紀子（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

（1）読書及び図書館運営に関する国家的姿勢及び政策

はじめに、ドイツにおける、読書指導の必要性について述べる。

PISA2000 に対しドイツでは、219 校、約 5,000 人の生徒が参加した。この調査の結果、読解リテラシー(読解力)では、ドイツは参加 32 ヶ国中 21 番目であり、しかも「最も基本的な知識と技能が身につけていないため、読解力が不十分である」と判定された生徒の割合は、ドイツでは約 10%を占めており、これは先進諸国の中ではかなり高い数値であった。この結果を受けてドイツは、初等教育段階から読解力を改善するための重点的取組を進めている⁽¹⁾。本稿では、その取組に関する具体例を紹介する。なお、ドイツには日本のような「学校図書館法」がなく、学校図書館が未だに制度化されていないため、学校内に公共図書館を設置することも見受けられる⁽²⁾。このため本稿の範囲は、公共図書館を中心としたものとなる。

（2）公共図書館の位置づけ

ドイツには公共図書館に関する連邦レベルの法律は存在せず、図書館の設置は州法によって定められている。また、公共図書館の設置義務や運営方針、財政についても、連邦レベルでの統一は見られない。公共図書館の設置及び運営は、多くの場合、地方自治体の文化予算と州の奨励金によって行われる。

このような態勢の中で、国レベルの公共図書館振興に関して一定の役割を果たしているのが「ドイツ図書館連名全国連合(BDB)」であり、この機関が 1993 年にライプツィヒでの「第 5 回ドイツ図書館会議」で発表した「93 年図書館(Bibliotheken '93)」が現代ドイツの公共図書館を大きく方向づけている⁽³⁾。

⁽¹⁾ 原田信之「教育スタンダードによるカリキュラム政策の展開—ドイツにおける PISA ショックと教育改革—」吸収情報大学研究論集, 8(1), 2006 年, Pp. 51-68.

⁽²⁾ 竹之内禎・川島茂生 第 4 章：ドイツの公共図書館 諸外国の公共図書館に関する調査報告書：文部科学省, 2005 年,
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/tosho/houkoku/06082211/007.pdf#search='%E7%AC%AC4%E7%AB%A0+%E3%83%89%E3%82%A4%E3%83%84%E3%81%AE%E5%85%AC%E5%85%B1%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8' (2012 年 10 月 19 日閲覧)

⁽³⁾ (2)と同じ

① 公共図書館数⁽⁴⁾

(表 7.2.1) ドイツにおける州別の図書館(2003年, 単位: 館)

| 区分 | 図書館数(単位: 館) |
|---------------|-------------|
| 地域行政府率の図書館 | 5,788 |
| うち市町村立図書館 | 4,981 |
| カトリック教会立図書館 | 3,794 |
| プロテスタント教会立図書館 | 893 |
| その他の経営母体の図書館 | 109 |
| 全体 | 10,584 |

なお、ドイツには日本のような「学校図書館法」がなく、学校図書館が未だに制度化されていないため、学校内に公共図書館を設置することも見受けられる。このため本稿の範囲は、公共図書館を中心としたものとなる。大学図書館との間にも制度上の壁があまりなく、ゲッティンゲン、ケルンなどのように公共図書館がそのまま大学図書館という場合も見られる・公共図書館と大学図書館の図書館協力は比較的活発になされており、資料相互貸借も行われている。

公共図書館の施設・設備の状況については、隔週に「公共図書館はどういう施設を持つべきか」「子どもの閲覧室はどうあるべきか」などの指針・推薦を出す専門部署があり、それにしたがって公共図書館が作られている。

② 公共図書館における運営状況⁽⁵⁾

各段階別公共図書館の年間利用者総数及び年間貸出者総数は、次の表 7.2.2 の通りである。いずれもそれほど多くない。

(表 7.2.2) ドイツの図書館における年間利用者・貸出者総数(2003年, 単位: 人)

| 区分 | 来館者数 | | 貸出者数 | |
|---------------|-------------|--------|-----------|-------|
| | 総来館者数 | 1館当り | 総貸出者数 | 1館当り |
| 地域行政府率の図書館 | 94,186,697 | 16,273 | 7,152,100 | 1,236 |
| うち市町村立図書館 | 85,665,732 | 17,199 | 6,334,591 | 1,272 |
| カトリック教会立図書館 | 3,053,174 | 805 | 1,274,293 | 336 |
| プロテスタント教会立図書館 | 238,838 | 267 | 191,533 | 214 |
| その他の経営母体の図書館 | 5,218,637 | 47,877 | 203,542 | 1,867 |
| 全体 | 102,697,346 | 9,703 | 8,821,468 | 833 |

⁽⁴⁾ (2)と同じ

⁽⁵⁾ COLC 2012 A SNAPSHOT OF PRIORITIES & PERSPECTIVES: Libraries in Germany 2012年, <http://www.oclc.org/reports/de-libraries/214758usb-Member-Communication-Survey-Report-Deutschland.pdf>(2012年10月22日閲覧)

また、各段階別公共図書館の、図書・年次製本雑誌及び逐次刊行物(未製本単体)の年間貸出数は、次の表 7.3.3 の通りである。

(表 7.3.3) ドイツの図書館における年間貸出数(2003 年, 単位: 冊)

| 区分 | 図書及び年次製本雑誌 | | 逐次刊行物 | |
|---------------|-------------|--------|------------|-------|
| | 貸出数 | 1館当り | 貸出数 | 1館当り |
| 地域行政府率の図書館 | 185,458,492 | 32,042 | 11,639,736 | 2,011 |
| うち市町村立図書館 | 169,682,733 | 34,066 | 10,362,140 | 2,080 |
| カトリック教会立図書館 | 22,510,591 | 5,933 | 922,116 | 243 |
| プロテスタント教会立図書館 | 2,787,503 | 3,122 | 34,603 | 39 |
| その他の経営母体の図書館 | 7,654,040 | 70,221 | 533,870 | 4,898 |
| 全体 | 218,410,626 | 20,636 | 13,130,325 | 1,241 |

③ 司書資格の難易⁽⁶⁾

ドイツの図書館学教育は、(1)専門学校(Fachschule)での職業教育、(2)大学での「上級職(gehobener Dienst)」司書教育、(3)「高等職(Hoeherer Dienst)」司書教育の3つのレベルに大別できる。高等職とはある学問分野でディプロムやマギステルといった第一学位を得て、その上で図書館学関連課程を修めた司書のことであり、上級職は図書館学関連の学位のみを取得した司書を指す。大規模な図書館で館長や部局長などの職位に就くためには、高等職の資格が必要とされる。

④ 公共図書館による子どもの読書活動振興への取組及び活動

ドイツの公共図書館では、6歳以下の児童のための絵本が正当な位置を占め、入学前の児童の読書奨励が課題の一つとなっている。図書館でのお話会や読み聞かせは、今日、児童に対する図書館サービスの一環として通常の自明の活動に属する。更に加えて、国全体というよりは各図書館の判断によって、色々な子ども向けサービスが展開されている⁽⁷⁾。

ア. ミュンヘン国際児童図書館の取組

学校プログラムというワークショップを開いている。これは、本＝読書を声、総合的に子どもたちの歓声を高める芸術活動であり、子どもに絵本を読み聞かせて絵本のストーリーを作ってもらふことなど、本への関わりの場を提供している。

イ. ニュルンベルク市立図書館の取組

市内基本学校4校に直営の学校図書館を作っているほか、トランク図書館というユニークな試みをしている。トランク図書館は読書離れへの対策として市立図

⁽⁶⁾ 中村香織・三浦太郎・山形八千代・石井奈穂子・刈田朋子 CA1505 - 動向レビュー: 図書館員教育の国際動向 カレントアウェアネス, 277, 2003年, <http://current.ndl.go.jp/ca1505> (2012年10月22日閲覧)

⁽⁷⁾ 子財尚子 ドイツの子どもたちへの図書館サービス 図書館雑誌, 97(5), 2003年, Pp. 306-309.

書館が行っているもので、テーマに沿った資料(本、CD、ビデオ、地図、観察道具等)を大型のトランクに詰め込みトランクごと学校に貸し出すサービスである。たとえば自然観察がテーマの時は、トランクの中には本やビデオ以外に、虫眼鏡も入っている。

ウ. ハンブルク青少年図書館 (Hoeb4U)⁽⁸⁾

Hoeb4U はハンブルク・アルトナ地区の旧工業用地にあるレンガ作りのホール内に、2005年にオープンした。14,000の所蔵資料の半分はオーディオブック、CD、DVD、それに様々なシステムのゲーム(PC, Xbox360, PS2, PSP, 任天堂 DS, Wii)などのAVメディアである。その他にボードゲーム、コミック、雑誌、そしてファンタジー、ミステリー、恋愛、スターの伝記、あるいはヒップホップ、グラフィティ、思春期ストレスやスポーツ等に関する様々な実用書といった書籍も揃えている。また運営に関してはジュニア・カンパニー制度を採っており、利用者と同じ年齢層である研修生が運営を担っている。この図書館は図書に無関心である若者層を図書館に呼び戻すことをコンセプトとして運営しており、実際に2008年1月から9月までで利用者数は既に170,000人を記録している(比較対象として、公共図書館の年間利用者総数は、2003年度の地域行政府立の図書館では1館あたり16,273人であった⁽⁹⁾)。

⑤ 公共図書館における今後の方針⁽¹⁰⁾

2012年に、公共図書館が今後果たしていくべき役割、基本方針等について、図書館スタッフを対象とした調査(n = 143)がOCLCによって行われている。この調査においては、対象範囲を今後2年間と設定した場合、「従来型図書館の利用が増加する」と予測する回答(37%)よりも、「オンライン図書館の利用が増加する」と予測する回答(71%)の方が多くことが指摘されている。この予測に基づき、現在ドイツの図書館では、資料の電子化及び資料検索システムのオンラインデータベース化が急務と考えられている。多くの公共図書館がウェブサイトを開設しており、インターネット上で情報提供している図書館のリストは、ドイツ国内の書誌ユーティリティの一つであるHBZ (Hochschulbibliothekszenrum des Landes Nordrhein-Westfalen: ノルトライン-ヴェストファーレン州大学図書館センター)のサイト⁽¹¹⁾からアクセスできる。

⁽⁸⁾ ドイツと日本—図書館 ドイツ文化センター

<http://www.goethe.de/ins/jp/lp/kul/mag/bib/ja3912314.htm>(2012年10月19日閲覧)

⁽⁹⁾ (2)と同じ

⁽¹⁰⁾ (4)と同じ

⁽¹¹⁾ hbz <http://www.hbz-nrw.de/>(2012年10月22日閲覧) ※ドイツ語のみで他言語へは対応していない。

(3) 政策としての読書振興

児童に限らないが、ドイツの文化政策の一環として読書振興を行うことを目的に、1987年に設立された非営利の政府機関として「読書財団(Stiftung Lesen)⁽¹²⁾」がある。イギリスのナショナル・ブックリーグなどを模して設立されたドイツ読書組合を母体に、他の同種の活動を行ってきた団体や機関を統合して設立された。テーマ別の推薦図書目録の作成をはじめとして、「読書のすすめ」キャンペーン等の活動を行っている。

⁽¹²⁾ Stiftung Lesen <http://www.stiftunglesen.de/index.php> (2012年10月19日閲覧)
※ドイツ語のみで他言語へは対応していない。

3. イラン・イスラム共和国の読書活動

上原友紀子（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

（1）読書及び図書館運営に関する国家的姿勢及び政策

革命後のイランにおける公共図書館事業の目標とされているものは、1) 大衆の知的向上、2) 公教育の支援、3) イラン・イスラム文化の促進、4) 諸分野の調査研究の方法・手段の提供の4つである。特に3)は重要である。革命後のイランの国名が「イラン・イスラム共和国」と改称されたことからわかるように、現代イランはイスラム教を国家及び大衆の指導原理とし、図書館はそうしたイスラムの教えを大衆に浸透させる上で重要な役割を担っているためである⁽¹⁾。これらの目的に基づき、イランには検閲制度があり、児童書を含めたあらゆるメディアが検閲の対象である⁽²⁾。検閲は文化・イスラム指導省(Ministry of Culture and Islamic Guidance)が行っており、言論や出版がイスラム的見地から見て適切かの判断を行う。

ジャワ・コーラン解釈研究所(Javan Quran Interpretation Institute)の発表によると、イラン人の24時間あたりの読書時間は2分である⁽³⁾。

（2）図書館の運営

現代イランにおける図書館行政は、文化・イスラム指導省の管轄のもとで、公共図書館運営局(BTPL)が図書館政策を立案し、公共図書館一般事務局(GOPL)がそれを実行に移すという仕組みになっている⁽⁴⁾。

① 新国立図書館⁽⁵⁾

2005年3月1日に、新国立図書館が開設された。開設にあたり、「全ての人に、本について考え、たくさんの本を利用し、愛について学び平和や正義について模索するための良い機会を供給する」というコンセプトが報じられた。

② 電子図書館の開設⁽⁶⁾

2011年6月15日に、イランの文化イスラム指導省により、同国で初となる電子図書館が開設された。電子図書館では、800点以上のペルシア語図書や3,475点の外国語図書のほかに、19,000点のペルシア語の雑誌記事や760点以上の博士論文等が利用できる。

⁽¹⁾ 白岩一彦 CA695 - 現代イランの図書館事情 カレントアウェアネス, 134, 1990年, <http://current.ndl.go.jp/ca695> (2012年10月18日閲覧)

⁽²⁾ 酒井貴美子 CA1776 - 数字で見るイラン児童書の昨今の出版状況 カレントアウェアネス, 313, 2012年.

⁽³⁾ Iranian Culture Ministry opens digital library TEHRAN TIMES, May 25, 2008, http://old.tehrantimes.com/index_View.asp?code=169496 (2012年10月22日閲覧)

⁽⁴⁾ (1)と同じ

⁽⁵⁾ (1)と同じ

⁽⁶⁾ Iranian Culture Ministry opens digital library TEHRAN TIMES, June 15, 2011, http://old.tehrantimes.com/Index_view.asp?code=242570 (2012年10月22日閲覧)

③ 児童図書館⁽⁷⁾

1966年以降各地に設けられるようになった児童図書館は児童少年知育研究所（INIDCYAまたはIIDCYA）が各地に設置した会費制図書館で、旧来の図書館サービスに加えて、視聴覚教材やブックモービルなどの新しいサービスを導入し、子供の知的向上を計っているのが特色である。これらの児童図書館は、全国で265館、職員は計837名となっている。この児童図書館の場合も、職員の専門的訓練が不足しており、職員全体の95%を占める高卒者については、3ヶ月の速成訓練コースが計画され、1990年10月現在までで22回実施されている。

④ その他の図書館⁽⁸⁾

公共図書館、児童図書館のほかに1) 農村図書館、2) 宗教施設の図書館がある。1) は革命組織の一つである「建設聖戦隊」が、宗教者や賛同者の支援を得て全国に設けているもので、総数5,148に上る。蔵書冊数は1館あたり300-1,500冊で、運営にはボランティアがあたる。2) はイスラム教寺院（モスク）等に付属するもので、イスラム世界に古来から見られるものである。

(3) イランにおける読書推進プログラム⁽⁹⁾

ジャワ・コーラン解釈研究所により、子どもや若者の読書推進策の一環として、本を郵便で無料で送り届けるプログラムが行われている。同研究所の5000冊の本の中から1冊ずつ借りることができ、2回目以降は前に借りた本についての3つの質問に電話で答えられたら借りることができるという仕組みになっている。

(4) イランにおける児童書⁽¹⁰⁾

「本の家」は文化・イスラム指導省に属する機関で、イランで出版される本についての情報を提供するために1993年に創設された。雑誌やデータベースなどさまざまな形で本に関する情報を提供するほか、ブック・フェスティバルを開催したり、ベスト・ブックやいくつかの賞の選定にも関わったりしている。このため出版物に関する詳細な情報を把握しており、この機関が発行している発行の「今月の児童書 (Kitab-i Mah Kudak va Nujuvān、英文名: Iranian Children & Adult Youth's Book Review & Information Journal. Monthly)」という月刊誌では、出版物全般について詳細なデータが掲載されている。

⁽⁷⁾ (1)と同じ

⁽⁸⁾ (1)と同じ

⁽⁹⁾ (3)と同じ

⁽¹⁰⁾ (2)と同じ

4. アメリカ合衆国の読書活動

笹屋 孝允（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

（1）アメリカ合衆国の公共図書館について

① 公共図書館に関する諸制度

連邦制をとるアメリカ合衆国（以下・合衆国）では、公共図書館の設置・運営も各州の州法によって定められており、図書館行政は州ごとに独立している⁽¹⁾。現在のところ、合衆国の全50州において図書館の設置と運営に関する州法が定められ、自治的に設置と運営が行われている。

ただし、各州の公共図書館へ、連邦政府から補助金交付も行われている⁽¹⁾。1956年に連邦政府によって制定された図書館サービス法（Library Services Act）では、図書館サービスが行われていない、もしくは不十分な農村地域のサポートが目的とされていた。現在も連邦政府により、学校図書館や大学図書館を含めた図書館間の電子的ネットワーク化の事業が重点化され、支援が行われている⁽¹⁾。

合衆国全体の公共図書館で、運営費は公費でまかなうという「無料の原則」が定着している⁽¹⁾。公共図書館は市民からの働きかけによって設置されてきた歴史があり、公教育を終えた人びとの教育の受け皿となる役割を公共図書館が担うことが期待されている。

② 整備の状況

合衆国全体で図書館は32,414館ある（1993年）⁽¹⁾。このうち、州立図書館は50州すべてに、合計137館設置されている。

州未満レベルの団体が設置・運営する公共図書館は合衆国全体で9,129館ある⁽¹⁾。7,352館が直接公共サービスを実施する図書館であり、1,776館は分館など複数のサービス窓口を持つ図書館である。公共図書館の設置機関は表1のとおりである。アメリカの市町村（Municipal）は合計で19,429であり、市町村ごとに見た市町村立図書館の設置率は25.7%となる。

（表 7.4.1）設置団体別に見た公共図書館設置数および割合（2001年度）⁽¹⁾

| 設置団体 | 図書館数 | 割合 (%) |
|---|-------|--------|
| 地方自治体 Municipal government | 4,993 | 54.7 |
| 郡/行政区 County/parish | 976 | 10.7 |
| 市/郡 City/county | 90 | 1.0 |
| 総合司法区域 Multi-jurisdictional | 492 | 5.4 |
| 非営利団体 Nonprofit association of agency libraries | 1,359 | 14.9 |
| 学校区 School district | 775 | 8.5 |
| その他 | 135 | 1.5 |
| 合計 | 9,129 | 100.0 |

州立図書館を除いた公共図書館の収入について、全国平均で1館あたり約90万ドルであった⁽¹⁾。内訳は連邦0.6%、州12.7%、地方77.3%、その他9.4%となっている。図書館のサービス対象人口の規模が小さいほど、連邦およびその他の寄付などが収入に占める割合が高くなる傾向がある。また、支出の内訳は人件費64%、資料費15.2%、その他20.8%となっている。

公共図書館には運営が企業に委託されている図書館もあり、アメリカで最初となる民間委託の公共図書館は1997年、カリフォルニア州のリバーサイド市に登場した⁽¹⁾。

③ 公共図書館による子ども向けプログラム

子ども向けの読書プログラムは、合衆国内のほぼすべての図書館で行われている⁽¹⁾。たとえば、サンフランシスコ公共図書館では読み聞かせ、みんなで楽しむいろいろな国のお祭り、児童の作人や図が、ブックマークのコンテスト、ビデオ上映、人形劇、チェスのトーナメント、学校の先生のとのお茶会などが行われている。

また、高齢者向けにコンピュータの講習会なども行われている。

(2) アメリカ合衆国の学校図書館について

① 設立の目的

学校図書館は「学校図書館メディアセンター」(school library media center)と表記されることもある。アメリカ図書館協会(American Library Association: ALA)は学校図書館の目標を、「学校に通学する児童生徒や教師など、学校内の全てのメンバーが公平に情報と情報技術にアクセスすること」と示している⁽²⁾。

合衆国では1950年代に学校図書館が急速に普及した⁽³⁾。当時、合衆国全体でスプートニク・ショックにより科学教育が重要視、再評価され、教育機関への公的資金の援助が増加した時期であった。学校図書館もその公的資金の援助を受けて発展した。

② 整備の状況

現在、公立学校に限ると、合衆国全体で83,824校(1999-2000年)の小中高等学校がある⁽³⁾。そのうち、92%にあたる76,807校に学校図書館が整備されている。また、司書を配置している学校は71,817校である。合衆国全体の平均で、各学校図書館には児童生徒一人あたり17冊の本が蔵書されている。

学校図書館の年間の支出(1999-2000年)は合衆国全体の平均で、1館あたり8,729ドルと報告されている⁽³⁾。そのうち、資料購入支出が5,683ドル、年間平均集書数が488冊、平均蔵書数が10,232冊となっている。また、児童一人あたり15ドル、そのうち資料費が10ドルとなっている。

児童生徒に主体的な図書館利用を認めている図書館数(1999-2000年)は28,292校(36.8%)と報告されている⁽⁴⁾。そのうち、児童生徒が主体的に図書館利用できる時間帯として答えた学校の割合は、放課後以前が49.9%、昼休みが33.6%、一日中が80.3%、授業の合間あるいは休憩時間が33.5%となっている。

③ プログラム

幼稚園から小学3年生までの幼稚園と小学校における読書教育プログラムの開発を支援するプログラムとして、連邦教育省が発表した“Reading First” initiativeがある⁽⁵⁾。これは2001年に制定された「落ちこぼれ防止法」(No Child Left Behind Act)を受けてのプログラムであり、子どもの読みの学習成績を高めるための科学的な実証研究を促進することが目的とされている。2003年のプログラム開始から2006年4月までの間に、全50州の1,550学校区、5,200園・校の幼稚園・小学校が支援の対象となった⁽⁶⁾。

全米の学校図書館とスクールライブラリアンに向けたプログラムは、全米学校司書協会(American Association of School Librarian: AASL)がガイドラインとそれに合わせたプログラムを作成、発表している⁽⁷⁾。近年発表されたプログラムとして、2007年に発表された「21世紀の学習者のための基準」(Standards for the 21st-Century Learner)がある⁽²⁾。このプログラムは読書を含めた情報リテラシーを重視し、知識を獲得するレベル1、情報を応用するレベル2、社会参加し知識を共有するレベル3、豊かな人間性を育むレベル4の4段階に学習者の水準を設定し、それぞれのレベルで習得することが望ましいスキルと行動、責任、自己評価の方略を設定している。それぞれの具体的な学習活動の指針として「活動における21世紀の学習者のための基準」(Standards for the 21st-Century Learner in Action)の冊子も2009年にAASLから出版されている。

また、この基準を受けて、「学習者のエンパワー：学校図書館プログラムのガイドライン」(Empowering Learners: Guidelines for School Library Programs)も発表されている⁽⁸⁾。このガイドラインは学校図書館が児童生徒や職員の情報活用を保障することを前提とし、協働学習や読書、情報検索の基礎的スキルの発達、学習評価を行うための教材の開発や、学校図書館の空間的、経済的、人的な環境整備の構築についての指針を示している。

(3) アメリカ合衆国の司書、スクールライブラリアンについて

① 学校図書館司書教諭について

日本の「司書教諭」にあたる職種は、合衆国ではSchool Librarianと呼ばれることが一般的である⁽⁹⁾。州や市町村によって呼称が異なり、“School Librarian”の他に、“Media Specialist”、“Teacher Librarian”などとも呼ばれている。

しかし、学校内での位置づけや資格は日本の司書教諭と大きく異なる。たとえば、スクールライブラリアンは通年で学級や教科を担当することはない。主な職務として、学校図書館の管理運営に加え、他の教員と協働で、もしくは単独で授業を担当することが挙げられる。

② 司書の養成課程

合衆国において図書館司書となるには、ALAが認定を行った図書館情報学修士課程を修了することが条件となっている⁽¹⁾。2004年時点で、ALA認定校は合衆国内に

48校、プエルトリコに1校、カナダに7校ある。遠隔教育プログラムを設置している大学もあり、そのプログラムで修士号を取得することもできる。

司書に対しての研修活動はALAの組織全体で行われており、教育委員会向けなどにセミナーが行われている⁽¹⁾。また、ALAによって司書の養成が認定された大学でも司書向けの研修が行われている⁽¹⁰⁾。

スクールライブラリアンとなるには、通常は修士号に加え、各州のスクールライブラリアンやメディアスペシャリストとしての免許が必要とされる。後者に関しては、各州で制度が異なっている。

なお、合衆国全体の公立学校では、専任として学校に勤務するスクールライブラリアンのうち、図書館情報学の修士号を取得している割合は初等教育段階で39%、中等教育段階で52%であった(2003-2004年)⁽⁴⁾。

③ 司書・スクールライブラリアンの配置状況

合衆国の公共図書館9,129館のうち44.6%にあたる4,072館にALA-MLS有資格司書が配置されているとの報告がある⁽¹⁾。図書館1館あたりのサービス人口規模が小さくなるほど、有資格の司書配置率が低くなる傾向がある。

公立学校の学校図書館では、76,807校にある学校図書館(1999-2000年)のうち、ライブラリアンを配置する学校数は71,817校(86%)であると報告されている。勤務状態別に見ると、専任の州認定図書館メディアスペシャリストを配置している学校は46,485校(60.5%)、非常勤の州認定図書館メディアスペシャリストを配置している学校は11,296校(14.7%)となっている⁽⁴⁾。

<参考文献>

- 1) 「アメリカの公共図書館」文部科学省・諸外国の公共図書館に関する調査報告書第5章，文部科学省，2005年
- 2) Standards for the 21st-Century Learner, American Association of School Librarians, 2007年
- 3) “America’s Public School Libraries: 1953-2000” National Center for Education Statistics, 2005年
- 4) 「米国の図書館事情 2007」2006年度国立国会図書館調査研究報告書，国立国会図書館・日本図書館協会，2008年
- 5) Reading First, <http://www2.ed.gov/programs/readingfirst/index.html>, 2012年10月18日参照
- 6) Reading First Implementation Evaluation: Interim Report, U.S. Department of Education, 2006年
- 7) URL: <http://www.ala.org/aasl/>
- 8) Empowering Learners: Guidelines for School Library Programs, American Association of School Librarians, 2009年
- 9) 村上郷子，ニューヨーク市のティーチャー・ライブラリアンに聞く，埼玉学園大学紀要（人間学部篇）第7号，pp.243-249，2007年
- 10) 「図書館職員を対象とする研修の海外の状況調査」図書館調査研究レポート No.3，国立国会図書館，2004年

5. カナダの読書活動

笹屋 孝允（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

（1）カナダの公共図書館について

本節では、カナダの公共図書館について概説する。

① 政府との関係、自治

カナダの公共図書館は州レベルで運営されている⁽¹⁾。予算などの支援は国から公共図書館から行われるものの、国家レベルで公共図書館の運営にかかわる機関はない。なお、国立図書館は首都オタワに1館設置されている。

そのため、公共図書館についてのデータを一括で調査する機関がない。以下で示す公共図書館に関するデータは厳密に正確なデータではないことをあらかじめ留意されたい。

② 図書館数

カナダの公共図書館の数は表 7.5.1 の通りである⁽¹⁾。州によって図書館数、1館あたりの人口の差が大きい。

（表 7.5.1）カナダにおける州別の図書館・サービス拠点数

| 州 | 図書館・サービス拠点の合計 | 図書館 | サービス拠点 | 人口 | 1館あたりの人口 |
|------------------|---------------|-----|--------|------------|----------|
| アルバータ | 567 | 245 | 322 | 3,062,564 | 5,401 |
| ブリティッシュ・コロンビア | 303 | 71 | 232 | 3,896,712 | 12,860 |
| マニトバ | 53 | 53 | 0 | 920,246 | 17,363 |
| ニューブランズウィック | 70 | 5 | 65 | 527,188 | 7,531 |
| ニューファンドランド | 97 | 1 | 96 | 551,792 | 5,689 |
| ソースウエスト準州 | 10 | 1 | 9 | 41,100 | 4,110 |
| ノバスコシア | 96 | 1 | 95 | 909,282 | 9,472 |
| ヌナブト準州 | 11 | 11 | 0 | 24,730 | 2,248 |
| オンタリオ | 1,598 | 350 | 1,248 | 10,963,348 | 6,861 |
| プリンス・エドワード・アイランド | 26 | 1 | 25 | 137,980 | 5,307 |
| ケベック | 171 | 171 | 0 | 6,499,730 | 38,010 |
| サスカチュワン | 419 | 10 | 409 | 991,824 | 2,367 |
| ユーコン準州 | 15 | 1 | 14 | 30,776 | 2,052 |
| 合計 | 3,436 | 921 | 2,515 | 28,557,272 | 8,311 |

（1999年、ヌナブト準州のみ図書館数は2004年、人口は1996年）

③ 公共図書館におけるプログラム

カナダの公共図書館のほとんどすべてで子どものために読書指導のプログラムが

行われている⁽²⁾。例として、読み聞かせ、学校訪問、読書会、レファレンスサービスなどがある。宿題をするために図書館を使用する子どももいる。オンタリオ州・ネビアン公共図書館の利用者の25%が宿題を目的に図書館を利用していると報告されている。

また、公共図書館によっては高齢者向けのインターネット講習会、障害者用資料の整備、移民のための資料の拡充など、成人向けのプログラムも行っている。また、英語とフランス語が使用されるエリアでは、多くの図書館で様々な言語の資料や本を用意するなど多文化サービスも行っている。

(2) カナダの学校図書館の整備状況について

カナダの学校の93%(2003年)に学校図書館が整備されているという統計がある⁽³⁾。

しかし、大学院を修了したフルタイムの司書教諭 (Teacher Librarian) の配置は1校あたり0.25人(2003-2004年)であった⁽⁴⁾。修士号を持たずに担当できるライブラリー・テクニシャン (Library Technisian) を司書教諭の代わりに配置している学校もあるものの、ライブラリーテクニシャンの配置も全国で1校あたり0.26人であった。

州ごとの司書教諭配置率の差も大きく、プリンス・エドワード・アイランド州では3分の1以上の学校でフルタイムの司書教諭を配置しているが、ケベック州でのフルタイムの司書教諭配置率は2.0%、アルバータ州では3.6%にとどまっている。

(表 7.5.2) カナダにおける1校あたりの司書教諭数(人)

| 州 | 司書教諭 | ライブラリー・テクニシャン |
|------------------|------|---------------|
| アルバータ | 0.07 | 0.47 |
| ブリティッシュ・コロンビア | 0.48 | 0.10 |
| マニトバ | 0.17 | 0.41 |
| ニューブランズウィック | 0.08 | 0.27 |
| ニューファウンドランド | 0.27 | F |
| ソースウエスト準州 | F | 0.26 |
| ノバスコシア | 0.07 | 0.42 |
| ヌナブト準州 | F | F |
| オンタリオ | 0.39 | 0.24 |
| プリンス・エドワード・アイランド | 0.56 | F |
| ケベック | 0.03 | 0.20 |
| サスカチュワン | 0.24 | 0.44 |
| ユーコン準州 | 0.35 | F |
| 全国 | 0.25 | 0.26 |

(2003-2004年、Fは変動係数が33%以上で信頼性が乏しい)

(3) 学校図書館司書について

① 資格の取り方

カナダの司書教諭 (Teacher Librarian) は資格を持った専門職員である⁽⁵⁾。数年の教員経験に加え、大学院の司書教諭課程を経て、図書館情報学の修士号を取得

することが資格の要件となる。

② 校内での立場

司書教諭が担当する職務として、子どもへの直接的な情報検索と情報の解釈、応用に関する指導、子どもの学習の支援、カリキュラム立案の協力、校内での学習プログラムの開発、評価や目標設定の協力、研究情報の提供、デジタル技術に関する教員への指導などがある⁽⁶⁾。

また、司書教諭は図書館の運営も担当する。具体的な職務として、予算編成、蔵書や資料の収集、情報機器の整備、他の図書館とのネットワーク構築、学校図書館のホームページの管理などが挙げられる。

司書教諭は校内のすべての児童生徒の学習に対して責任を持ち、教師と協力しながら指導を行っている。

(4) 学校図書館協会について

学校図書館に係る団体として、カナダ学校図書館協会(Canadan Association for School Libraries)がある⁽⁷⁾。学校図書館協会は学校図書館プログラムと司書教諭の精神を統合するために2004年に設立された。主な活動は学校図書館プログラムの振興であり、会誌の発行やポータルサイトの運営を通して司書教諭の支援と継続的教育を行っている。

① 学校図書館協会発行の会誌について

カナダ学校図書館協会は会誌“School Libraries in Canada (SLIC)”を現在のところ毎年3号ずつ発行している⁽⁸⁾。この会誌はオンラインで誰もが読むことができる。司書教諭や学校の管理職、司書教諭課程の大学院生が主に投稿している。内容も読書に関する研究の紹介、司書教諭の職務に関する論考、各学校図書館の紹介、学校図書館向けの書評など多岐にわたっている。

② 学校図書館のポータルサイトについて

カナダ学校図書館協会は各学校向けにポータルサイト“School Library Infomation Portal (SLiP)”も運営している⁽⁹⁾。ポータルサイトのリンクをたどると、司書教諭コミュニティ、図書館の経営、専門的発達、研究、学校図書館プログラム、政策などのホームページを見ることができる。

③ 「全国学校図書館の日」(National School Library Day)について

カナダでは10月が読書月間であり、学校図書館協会が10月の第4月曜日を「全国学校図書館の日」と定めている⁽¹⁰⁾。「全国学校図書館の日」は1999年に始まった。この日は各州の教育大臣をはじめ、図書館の関係者や各図書館が読書に関して声明を発表する。

「全国学校図書館の日」には11時から20分間、沈黙して読書することが推奨される。また、各図書館では、市長の図書館への招待、司書の学校訪問、地元メディアへの広告提供、ビデオコンテスト、物語の登場人物に仮装する、新しい書籍の紹介のための開放、寄付の呼びかけ、劇の上演、トリビアのコンテスト、読書啓発ビ

ング大会、教師の交換授業などが行われる。

(5) 学校図書館の予算削減について

カナダの学校図書館は近年、予算の削減を受けて深刻な状況にあるというレポートもある⁽¹¹⁾。このレポートによれば、カナダの学校図書館は近年の予算削減によって蔵書を維持できなくなりつつある、司書教諭のポストが削減されている、情報機器の整備ができなくなっているなどの状況にある。

すでに述べたように、司書教諭の代わりとしてライブラリー・テクニシャンを雇用する学校図書館もあるが、それも予算削減によるものと指摘されている。ライブラリーテクニシャンは2年制のコミュニティカレッジの卒業資格で担当でき、指導経験がない場合は司書教諭よりも賃金が低く設定されている。

カナダ統計局による調査では、全国の学校図書館の合計資料購入費は5620万カナダドル、学校一校あたりの資料購入予算は中央値で2000カナダドルであった⁽¹²⁾（1カナダドル=80.25円、2012年10月16日時点）。この2000カナダドルという金額は、百科事典を1シリーズ購入する金額とほぼ同じである。

一校あたりの資料購入予算も州ごとの差が見られ、中央値の最高はサスカチュワン州の3600カナダドル、最低はノバスコシア州の1400カナダドルであった。

図書館の収入源は学校ごとに異なっている。約30%の学校が学校外からの支援、たとえば教育委員会や州からの支援、寄付などを受け取っている。

<参考文献>

- (1) 「カナダの公共図書館」 文部科学省・諸外国の公共図書館に関する調査報告書第6章, 2005年, p.185
- (2) 「カナダの公共図書館」, pp.200-203
- (3) Ken Haycock, The Crisis in Canada's School Libraries:The Case for Reform and Re-Investment, Association of Canadian Publishers, 2003年
- (4) School libraries and teacher-librarians, <http://www.statcan.gc.ca/daily-quotidien/050504/dq050504a-eng.htm>, 2012年10月16日参照
- (5) 全国学校図書館協議会カナダ・アメリカ学校図書館視察団(編), カナダ・アメリカに見る学校図書館を中核とする教育の展開, 全国学校図書館協議会, 2006年, p.24
- (6) Role of the Teacher-Librarian - Alberta School Library Council, <http://aslc.teachers.ab.ca/SiteCollectionDocuments/ASLC.teachers.ab.ca/Documents/role.pdf>, 2012年10月16日閲覧
- (7) URL: <http://www.cla.ca/AM/Template.cfm?Section=Mission>
- (8) URL: <http://www.clatoolbox.ca/casl/slic/>
- (9) URL: <http://www.clatoolbox.ca/slip/>
- (10) URL: <http://www.clatoolbox.ca/casl/nsld.html>
- (11) Ken Haycock, The Crisis in Canada's School Libraries:The Case for Reform and Re-Investment, Association of Canadian Publishers, 2003年
- (12) School libraries and teacher-librarians, <http://www.statcan.gc.ca/daily-quotidien/050504/dq050504a-eng.htm>, 2012年10月16日閲覧

6. メキシコ合衆国の読書活動

笹屋 孝允（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

（1）メキシコにおける図書館整備の状況

これまで、メキシコでは国民の識字率を向上させることを目的に図書館の整備が進められてきた。なお、100年前は国民の非識字率が72.3%だったが、現在では7.6%にまで減少した。

メキシコ図書館協会の会長であるDr. Jesús Lauは、国民の識字率をさらに向上させるためにこれからも図書館の整備を進めていくことが必要であるとの認識を示している⁽¹⁾。メキシコにおける図書館整備の状況を、公立図書館と学校図書館に分類して概説すると次の通りである。

① 公立図書館の整備状況

近年、メキシコでは公立図書館の普及が急速に進められてきた。1983年に図書館の普及を進めた当時は485館しかなかった公立図書館数が、6年後には3347館に急増した。現在は7,319館まで公立図書館の設置が進んでいる。この公立図書館のほぼすべてが子ども向けの読書プログラムを設定している⁽³⁾。

メキシコは現在、ラテンアメリカ諸国の中で最も図書館が整備されている国であると言える。ただし、図書館の大きさやサービスの質は、都市の規模によって左右されており、規模が小さい都市だと図書館の規模も小さくなる傾向があるというのが実情である。

② 学校図書館の整備状況

大学図書館は公共図書館以上に環境が整備されている。すべての大学図書館ではないものの、大規模もしくは中規模の大学図書館では専門の職員を数多く雇用しており、予算の金額も多く、最先端の設備を整えている。

しかし、学校図書館の整備はまだ進んでいない。現在、メキシコには12万校以上の学校があるが、そのうち学校図書館が設置されている学校はおよそ5,000校しかない。これから学校図書館を整備していくことが大きな課題となっている。

政府もすべての学校に小さな図書館を整備することを目標としている。政府は読書プログラムを設定し、学校図書館の整備を進めるとともに、この10年間で子ども向けに20億冊以上の書籍を準備することを予定している。

（2）メキシコにおける読書普及のプログラム

現在、メキシコ文化省が中心となり、成人向けの読書普及を目的としたプログラムを立ち上げている。それは、地下鉄の出入り口に掲示されたポスターに印刷されているQRコードを読み込むことで、電子書籍を無料でダウンロードできるというプログラムである⁽²⁾。

首都メキシコシティの地下鉄3号線では、本の表紙とQRコードが印刷されたポスターが各駅の出入口に掲示されている。このQRコードを読み込むことで、利用者は電子

書籍をダウンロードできる仕組みになっている。書籍の内容は小説から実用書まで幅広く揃えられており、毎月 50 冊ほどの書籍が無料でダウンロードできる。

ただし、利用者は本の一部のみを電子書籍としてダウンロードできる仕組みとなっており、本の内容すべてをダウンロードできるわけではない。このプログラムのねらいは利用者が本を購入する意欲を高めることである。

(3) メキシコの読書教育プログラム

① 全国的な取組

ここでは、メキシコ政府による全国的な読書教育プログラムを、年代順に概説する⁽³⁾。

ア. the National Program for Reading

メキシコでは読書が近年とくに重要視されているトピックになっている。1995 年に the National Program for Reading が最初の読書プログラムとして設定された。このプログラムは 5 つの目標によって構成されている。

目標の主なものとして、教師や子どもたちへの教育的な資料の開発がある。例として、教師用のガイド、児童生徒向けの書籍、リファレンスカードなどが挙げられる。

また、教師を支援するための相談体制づくり、スペイン語圏での教師の支援、読書グループの実施と強化が目標とされていた。

イ. Toward a Country of Readers

2000 年に the National Program for Reading の目標が改変され、プログラムの名称も Toward a Country of Readers に変更された。このプログラムの主な目標は、文字資料の使用と製作の促進、メキシコの文化多様性の認識、図書館のコレクション整備のメカニズム開発であった。

このプログラムは読書促進を目標とした 4 つの基礎的な活動から構成されている。主な活動は、全国レベルでの継続的な教育課程の開発である。また、学級文庫向けに 1 年ごと 75 冊の本の選定と制作、32 すべての州での学級文庫プロジェクトの設立、読書を評価する文化を醸成する公的キャンペーンの準備が基礎的な活動として設定されていた。

ウ. Mexico Reads

2008 年には読書推進のプログラムが Mexico Reads に改められた。このプログラムは従来のプログラムよりもより広い視野で読書教育をとらえ、文字文化における熟達者の形成、つまり、話すことや聞くことを含めたコミュニケーションスキルの発達をねらいとした。これは、社会と人間の発達に必要なメキシコ人の知識と情報にアクセスすることを最優先としている。

Mexico Reads では、次のような認識が前提とされている。

- ・読み書きは情報や知識にアクセスし、社会的不平等を解消するための道具である。

・本は文化多様性を尊重するための手段であり、能力や仕事、知識を生産する。

・学校や図書館は両親とともに子どものリテラシーを発達させるための理想的な空間であり、読書を推進する社会的活動とかがかかわっている。

Mexico Reads は 16 の原理によって方向付けられている。そのうち 2 つの例を挙げる。

・教師と同じように、読書の後援者、司書、そしてすべての両親が文字文化における読書の熟達者の育成に必要な不可欠である。

・評価や調査は活動を産出するために必要な情報であり、読書や本の促進において最良の実践を作り出し、意志決定や計画の透明性と説明責任を確保する。

② 公立図書館における読書教育プログラム

メキシコの公立図書館による全国的な読書促進活動の一つとして、My Summer Vacation in the Library Program がある⁽³⁾。これは教育的でありレクリエーション的な活動を組織する。一連の活動を通して、子どもや青年が本により親しみをもち、楽しい方法で読書ができるようにすることがこのプログラムのねらいである。

このプログラムは 1986 年から始まり、テーマを変えながら毎年夏期休暇中に行われている。およそ 100 万人の子どもと青年が自分の意志で図書館へ行き、活動に参加する。主な活動として、調査、ゲーム、読み聞かせ、音読、歌、絵画、映画、読書を促進する展示会などがある。

また、それぞれの州レベルで読書活動推進のプログラムが行われている。例として、ハリスコ州とタバスコ州のプログラムを紹介する⁽³⁾。

ア. ハリスコ州

ハリスコ州の公立図書館では Little readers という活動が行われている。幼稚園児から高校生までの子どもが教師と一緒に毎月一回参加する。主な活動は次の 5 つであり、公立図書館は保護者とともにこれらの活動を支援するコミュニティの一部となっている。

a. Story hour

物語が好きな子どもが物語を読んだり、音読を聞いたり、再現したりする。

b. Reading groups

短い物語や小説、詩などを共有し楽しむことが目的であり、子どもや青年、成人が楽しめる雰囲気をつくる。

c. Investigative games

子どもたちが様々なトピックについて問題に答える。読書やゲーム、精巧な壁画、クロスワードやパズルが活動で使われる。

d. Reader's theater

青年や成人が演劇について学習する。参加者は劇の登場人物のせりふを読み、グループ全体で舞台上の活動を想像する。

e. Tertulias

非公式の集まりであり、短い物語や小説、詩を共有する。

イ. タバスコ州

タバスコ州の公共図書館におけるプログラムとして、「101の読書目標」(101 Reading Goals) というものがある。このプログラムは2008年に始まり、タバスコ州の図書館573館で行われた。101の読書推進活動で構成されている。次に示す活動は中でも最も成功した活動である。

a. 読書マラソン

印刷されたテキスト、または電子書籍を音読する。すべての段階の学校の生徒と保護者、また、市長や地方公務員も参加する。視覚障害者も点字を音読して参加している。

b. Reading soirées

図書館へ行くことや本、読書の促進活動である。図書館への案内、図書目録の展示会、本の紹介、詩の朗読、壁新聞、読み聞かせ、劇の上演、本の貸し出しの促進、工作、郷土料理の実演などが行われる。

c. 司書による学校訪問

司書が学校に訪問し、児童生徒や教師、保護者の読書を推進する。図書館にある本の書誌目録の展示会、読書会、ミニ読書マラソン、音読コンテスト、図書館サービスの紹介などが活動として行われる。

d. 「読書の日」の設定

タバスコ州にある573の公共図書館でWorld Book DayやNational Day of the Bookなど、様々な記念日を設定し、読書を促進する活動を行う。

e. 図書館スタッフの育成

国立大学と連携し、公共図書館の職員が図書館学や情報学の学士もしくは修士の学位を取得できる機会を提供する。

<参考文献>

- 1) Jesús Lau&Janet Lee, Libraries in Mexico: Context and Collaboration. An Interview with Dr. Jesús Lau, President, Mexican Library Association, Collaborative Librarianship, 2(2), 2010, pp.96-101,
<http://www.collaborativelibrarianship.org/index.php/jocl/article/viewFile/83/51>
- 2) Libropuerto Digital
<http://www.cultura.df.gob.mx/index.php/component/content/article/80-recomendacion/6713-libropuerto-digital> 2012年10月15日閲覧
- 3) Elsa Margarita Ramírez Leyva, Mexico Reads: national program for the promotion of reading and the book, <http://conference.ifla.org/ifla77>, 2011年

7. 中華人民共和国の読書活動

王 林鋒（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

中国新聞出版研究院は2012年4月19日に第9次全国国民読書調査の結果を発表した。この調査では2011年の中国国民の読書傾向が調査対象となり、中国の49の都市でサンプル調査が行われた。回収した有効回答は18,881件であり、うち、18歳未満の未成年が有効回答の24.1%、農村サンプルが有効回答の26.8%を占めている。中国国民（18～70歳）が2011年に読んだ図書は一人当たり平均4.35冊、新聞は100.7部、定期刊行物は6.67冊、電子書籍は1.42冊であるという⁽¹⁾。

以下、調査結果の概要をまとめ、中国近年の読書推進活動に関する政府の方針、各地方の実践状況、および香港、マカオ、台湾の政策について紹介する。

（1）2012年度国民読書調査の結果

① 読書率

調査により、2011年の中国国民（18～70歳）の各種出版物（ペーパー版・電子版含む）総合読書率は77.6%で、2010年と比べて、0.5%増加したことが明らかになった。その中で、書籍の読書率は53.9%となり、前年比1.6%増であった。一方で、新聞読書率は63.1%で前年比3.7%減、定期刊行物の読書率は41.3%で、前年比5.6%減であった。

② 電子出版物

各種デジタル化された読書方式に接する割合は、2010年と比較していずれも異なる程度で増加しており、かなり早い勢いで伸びていることがわかった。中国国民（18～70歳）の電子書籍の読書率は16.8%で、電子新聞と電子ジャーナルの読書率はそれぞれ8.2%と5.9%であった。デジタル化された読書方式（インターネット上での読書、携帯電話での読書、電子ブックリーダーを使った読書、電子ブックでの読書、PDA/MP4/MP5での読書など）に接する割合は38.6%で、2010年の32.8%と比べて5.8%も増え、増加率は17.7%であった。調査は同時に国民（18～70歳）の2011年インターネット使用率が54.9%であり、2010年の49.9%と比べ5%増加したことを明らかにした。そのうち、デジタル化された読書方式に接したことのある人の8割以上が18～40歳となった。

③ 読書スタイルの傾向

読書スタイルの傾向に対する研究により、75.3%の人がペーパー版の図書で読書、11.8%の人はインターネット上で読書、9.4%の人は携帯電話で読書、2.5%の人は電子ブックリーダーを使って読書する傾向にあり、1.0%の人がインターネットからダウンロードし印刷してから読む習慣があることもわかった。7割以上の国民が好

⁽¹⁾尚焯. “第九次全国国民阅读调查” 初步成果发布. 中国出版网. http://cips.chinapublish.com.cn/chinapublish/tpxw/201204/t20120420_105469.html (参照 2012-09-10) .

む読書スタイルは依然として紙ベースの本の読書であった。

④ 自己読書評価

国民（18～70歳）の6割近い人が自分の読書量がやや少ないか一般的であると考えており、6割以上の国民が地元の関係部門が読書イベントを開催することを希望し、その中でも農村部住民の期待は都市部住民より高いようであった。

⑤ 未成年（0～17歳）

未成年（0～17歳）の読書率は83.1%であった。未成年読書量の平均増加率は成人より顕著に高い。読書量の分析により、14～17歳未成年の読書量は一番多く、平均10.68冊であった。9～13歳未成年の平均読書量は7.24冊であり、0～8歳未成年の平均読書量は5.4冊であった。未成年三つの年齢階層の平均読書量は18～70歳成人を超えていた。

⑥ 家読

調査結果によると、0～8歳の子供を持つ家庭において、親が子供と一緒に本を読む習慣がある家庭は85.9%、家読の平均時間は24.15分であった。そのほか、子供を連れて本屋さんへ行く年間頻度は3.12回であった。

（2）政府の方針

中国の読書推進活動は、1990年代に始まった。1997年に中央宣伝部、文化部、教育部など9部門が共同で“知識工程”を実施し、全民読書を提唱する読書社会の建設を唱えた。2000年に、中国図書館学会は図書館が重要な拠点として毎年の12月に全国的に“全民読書月”を行うことを定めた。それ以降、読書推進運動を本格的に展開し始めた。2004年に行った中国図書館学会大会では、社会読書を議題の一つとして設定し、図書館が読書への関心促進する活動に取り組み始めた⁽²⁾。

2006年4月に、中央宣伝部をはじめ、11国家部門は全社会に“読書に親しみ、よい本を読もう”をスローガンに全民読書活動を提唱した。したがって、全国各地が社会主義調和社会かつ裕福な社会を築くため、中華民族を復興しようという勢いで全民読書活動の推進を積極的に展開した。中国図書館学会は図書館界、学术界、読書研究会、出版界および有名な専門家たちを招き、科学普及と読書指導委員会を立ち上げた。下には、専門家委員会、読書文化研究委員会、推薦図書目録委員会、家族蔵書読書委員会、図書館と社会読書委員会、クイズと社会読書委員会と6つの分委員会を設置し、全面読書事業を指導することとした⁽³⁾。2008年10月、中国図書館学会により図書館サービス宣言が発表された。図書館が全民読書推進運動の実施に努めるべきだと定められた。図書館は国民の生涯学習を保障し、学習型の社会を構築するよう促す。

⁽²⁾ 金立. 近年来国内阅读指导与阅读推广理论研究与实践综述. 中国大学城网. <http://www.worlduc.com/blog2012.aspx?bid=2860128> (参照 2012-09-15) .

⁽³⁾ 中宣部等 11 个部门联合倡议开展全民阅读活动. 新华网. http://news.xinhuanet.com/politics/2006-04/18/content_4443906.htm (参照 2012-09-15) .

(3) 全国大規模な読書推進活動

① “文明中国” 全民読書活動

2012年に世界読書日である4月23日に兼ねて、“文明中国”という全民読書活動が、中央文明部、新聞出版総署の指導のもとに、出版界関連機構の共同主催により始まった。これは、全国性、持続性、創造性を持つ基礎読書プロジェクトである。この活動は、三つの場、三つの項目、三つのツールを通して、読者に質の高い図書を提供する。三つの場とは、中国文明網特集チャンネル、携帯電話使用者向けの読書コラム、“文明中国”全民読書推進センターである。三つの項目とは、企業会社、母子、学生という三つの人群を対象し、読書カバンを配布し、読書体験模範基地を創建し、全民読書カードを配る活動である。三つの工具とは、読書測定評価手法、都市読書指数、および毎年度の全国読書コンクールである。2012年度“文明中国”全民読書活動の重点プロジェクト“読書を愛する、夢を書こう”という読者に無料で本を贈り、創作を募集する読書推進活動が発表された。抽選で全国の参加者に一万冊の図書と十万枚の携帯電話読書カードを配布する⁽⁴⁾。

② “1キロを背負う” 旅行

“1キロを背負う”とは、1キロの本を持ち、旅に出かけて、山村の子供に本を寄贈するというチャリティ旅行である。個人の旅行を、気軽な方法で、愛を伝える旅に変えて、有意義な読書推進活動につなげる。2004年4月実施以来、多くの人がこの活動に参加している。都市が持っている潜在的なソフト資源が農村地域の小中学校の子供に公益団体ではなく、一般人により直接渡される。現地の学校で子供と一緒に遊び、活動した経験を専用ウェブ(1KG.org)を通して、多くの人に発信できる⁽⁵⁾。

③ 農村部の読書建設

文化建設の遅れた地域において、農民の乏しい読書環境に対する対応策が考え出された。2003年から2005年までの間に、文化部と財政部は“農村に本を送るプロジェクト”を行い、300貧困県の図書館および3,000町村図書室に合計390万冊の図書を送った。選ばれた本は科学普及、家庭医学、農業技術など農民の読書ニーズに応じた図書である。毎年2,000万元(約2億7,000万円)で、三年間で6,000万元の予算が投入された。

そのほか、農村文化建設を一層強めるために、2007年からは農村地域の支援のための“農家書屋”を設置する事業を行っている。“農家書屋”とは、農民の文化的需要を満たすために農村に設置された、実用書や新聞雑誌、音楽映像資料等が閲覧できる施設である。原則的には、各農家書屋には、図書1,000冊以上、雑誌新聞30

⁽⁴⁾ “文明中国”全民阅读活动启动仪式在北京举行. 中国文明网. http://www.wenming.cn/wmzg_qmydhd/zhutihuodong/201204/t20120423_624925.shtml (参照 2012-09-16) .

⁽⁵⁾ 关于多背一公斤. 多背一公斤网. <http://www.lkg.org/misc/about> (参照 2012-09-16) .

種以上、電子音楽映像資料 100 種以上が配置される。計画では、2010 年までに約 20 万の農家書屋を建設し、2015 年までにはすべての農村に設置することを目標にしている⁽⁶⁾。

④ 中華伝統文化朗読プロジェクト

中華伝統文化朗読プロジェクトとは、2002 年から中国次世代育成委員会が、各社会力量と連携する形で開始した、学校、青少年、全社会向けの伝統文化美文を読むという古典読書推進プロジェクトである⁽⁷⁾。本プロジェクトは、核心古典読本の編成をはじめ、全国的に古典読書活動を展開している。また古典読書が青少年の言語学習、文化素養、道德品質、人生価値観などへの影響を考察するために、実験学校を募集し、古典・経典読書の学校課程化の可能性および有効性について研究を行っている。このように、伝統文化を発揚し、中華文明を継承する趣旨のもとで、青少年たちが伝統美文を朗読することにより、豊富な文化知恵を受け入れ、言語面および精神面を明るくし、民族精神を養成させる。特に、グローバルで多様な文化と触れ合う次の世代にとっては、自身の民族精神を引き出し、中華美德を学び、民族自尊心、自信と文化帰属感を養う必要性が強くなっている。このプロジェクトは、社会文化および社会道德建設の需要に応じて、歴史から与えた使命であり、言語学習の宝庫と位置つけられる。

2004 年に中国次世代育成委員会と中国青少年発展基金会在“中華成語千句文”という読本を発表した。“中華成語千句文”とは、青少年に向け、成語で文を組み立て、短い紙幅で開闢以来中国歴代の変遷を記した読本である。成語は、歴史的な文献によく使われ、四文字で深い哲理の意を含むため、生命力を持つ言葉で古来より世間に広く伝わっている。全書は合計千二百句で、一万文字であるにも関わらず、簡潔で生き生きした言葉で中国五千年の文明史を表し、韻文の調子がよく、覚えやすいと好評されている。

2010 年に中国次世代育成委員会と教育部言語文字応用管理庁が毎年行う“心を啓発する・『論語』に会う”を題した公益サマーキャンプを開始した。このサマーキャンプでは、一か月にわたって、参加者が中華経典を朗読すること、書道を習うこと、武術を学ぶこと、伝統文化を座談すること、名所旧跡を参観することなどの活動を通して、中華伝統文化、東方哲学思想への理解を深めていく。

(4) 地域の実践活動

① 深圳：都市文化の一環としての読書推進活動

ア. “深圳読書月”

全民読書推進活動は都市から始まった。都市建設の一環として読書文化を取り

⁽⁶⁾文化部財政部“送书下乡工程”. 国家数字文化

网. <http://gxgc.ahlib.com/libportal/main/libpage/ssxx/detail.htm> (参照 2012-09-16).

⁽⁷⁾中华传统文化诵读工程简介. 中华诵读网. <http://www.songdu.net/newsnr.aspx?nid=58> (参照 2012-09-16).

上げた代表的な都市は深圳市である。2000年から、深圳市は11月を読書月と定めて、読書フォーラムや家庭教育論壇、学校文化論壇、テレビディベートなどの読書推進活動を行うことによって、市民の素質を高め、都市の品位も上げる取り組みをしている。読書で現代社会のせつちで落ち着きのない雰囲気静ませようとしている。“深圳読書月”は、十年以上続けられ、市民の中に根強く定着し、都市の代名詞と呼ばれる文化財である。それに、他の都市にとっては、読書模範市であり、影響を与え続けている。読書の都市は品位がある都市と広く認識される⁽⁸⁾。

イ. 24時間自動図書館

深圳図書館の所蔵書数は2010年までに1800万冊に達した。市民が本にアクセスしやすくなるように“町の24時間自動図書館”を開発した。市民は身分証明書で図書カードの発行、本の検索、予約、貸出と返却などの機能を利用できる。既に200個の自動図書館を設置し、2015年までに全市区域で自動図書館を640個にする計画がある。この図書ATMは、市民の読書に便利を図り、国内各都市だけではなく、海外にも導入されている⁽⁹⁾。

② 香港の読書活動事情

ア. 生涯学習を支える読書計画

香港では、成人に対して、生涯学習を宗旨にし、政府、民間機関の連携で数多くの読書推進活動を計画している⁽¹⁰⁾。例えば、“自由人生自習計画”は香港婦人事務委員会、宝くじ基金、香港公開大学李嘉誠専門学校と民間ラジオの連携による女性を対象とした三年間の学習計画である。その計画は女性にとって必要な健康、財務管理、人間関係などに関わる知識を扱う課程を提供している。ラジオあるいは通学で授業を受けることができ、また、学習時間を自由に調整でき、女子の自己力を向上させようとしている。

イ. 青少年課外読書活動

青少年に対しては、香港政府は教育改革の重要内容として読書文化を普及させようとしている。そのため、公共図書館と教育関係機関の連携で青少年課外読書活動を推進している。2002年から実施した“読書城建設プロジェクト”は十年にわたって、図書館がない小学校を対象として、移動図書館車で本を届けている。“一生一カード”は公共図書館が無料ですべての小学生に図書館カードを配布する企画である。子供に人生の第2のパスポートとして図書カードを持たせ、読書習慣を身につけさせようとしている。2002年から6つの主要図書館の提唱による“児童および青少年読書計画”を始めた。4-19歳かつ公共図書カードを持つ読者は

⁽⁸⁾ 人民日报. 写在深圳读书月新十年开启之际: 读书一个城市的风尚. 中国文明网. http://archive.wenming.cn/zt/2010-10/29/content_21257879.htm (参照 2012-09-16) .

⁽⁹⁾ 深圳“24小时自助图书馆系统”将在全国推广. 新华网. http://news.xinhuanet.com/society/2009-12/07/content_12604006.htm (参照 2012-09-16) .

⁽¹⁰⁾ 师丽娟. 大陆地区与澳门地区全民阅读活动初探. 兰州学刊. 2006(12). p. 96-97.

読書計画の会員になることができる。会員は読書記録本を配られ、読んだ本や読書レポート、推薦書籍などを記録する。読書記録によって奨励される。親たちが子供の読書に積極的に参加できるように、公共図書館と教育関係機関は異なる読者群および各年齢層の読者の間に各種の読書会を設けている。例えば、15 家庭を一組としての家庭読書会、指導教員を設置する 30 人一組の青少年読書会⁽¹¹⁾。

ウ. コミュニティ読書計画

地域社会の読書風潮を高めるために、“共同学習型地域読書計画”と“地域図書館仲間パートナー計画”を強力に推進している。“共同学習型地域読書計画”とは、香港教育基金の支援を受け、香港児童会と地域図書館によって行われる 2 年間ごとの計画である。親たちをボランティアとして募集し、学校図書館で研修を受けさせ、学校へ行って子供に物語を語ってもらう。子供も読書日記を記録したり、交換したりする。そうすると、子供の読書能力だけでなく、書く力も伸びることが考えられる。“地域図書館仲間パートナー計画”は 2005 年から実施され、コンビニ式の図書室を設置し、地域の住民たちにより便利な図書サービスを提供することを目的としている⁽¹²⁾。

③ マカオの読書推進運動

マカオが回帰以降、読書文化を広げることに重点を置いてきた。読書活動の計画を立てること、具体的に実施すること、また資金を投入することにおいて、政府が主幹的な働きを果たす。マカオ中央図書館はマカオ最大の図書館であり、7 つの分館を持ち、毎年 7 月から 12 月まで“図書館 E ラーニング教室”、“オンライン読書会”などを行い、市民文化素質を高めようとしている。1986 年から今まで、中央図書館が“移動図書館”を創建し、毎日午後、人通りの多い道に泊まり、市民が図書を借りたり、閲覧したりできるようなサービスを提供している⁽¹³⁾。

ア. 生涯学習奨励計画

市民を生涯学習者に育てるために 2005 年 7 月から青年局と教育機関、公共団体の連携による“生涯学習奨励計画”を実施した。これは、養成、学習と読書の三つの学習項目を設置され、200 以上の学習内容を含み、すべてのマカオ市民が参加できる計画である。市民は規定の基準に満たすと、生涯学習者などの優秀称号が受けられる⁽¹⁴⁾。

イ. 学校読書最適化する計画

2004 年マカオ教育青年局は 1,300 万円（マカオドル）の資金を投入し、小中学

⁽¹¹⁾ 师丽娟. 港澳地区阅读推广活动介绍及启示. 图书馆杂志. 2007(5). p. 61-63.

⁽¹²⁾ 同(10).

⁽¹³⁾ 澳门中央图书馆活动及课程. 澳门中央图书馆. <http://www.library.gov.mo/cn/index.aspx> (参照 2012-09-20) .

⁽¹⁴⁾ 澳门教育暨青年局. 终身学习奖励计划.

http://portal.dsej.gov.mo/www/portalspace/discuz/dsej_viewnews_page.php?BoardName=cnews&Title=%E6%B6%88%E6%81%AF%E5%8B%95%E6%85%8B&board_searchvar=&board_orderby=&board_pg=160&msg_id=2470 (参照 2012-09-25) .

校図書館の空間と設備を改善する目的として、技術者を派遣したり、書籍を贈ったりする支援を提供する“学校読書最適化する計画”を始めた⁽¹⁵⁾。

ウ. 読書会

地域教育を充実させるために、地域と民間社会団体組織が連合し、読書会を行うことが主流である。読書会とともに、読書会リーダーシップを育成する課程を設け、指導者、補佐者と推進者を育てる⁽¹⁶⁾。育成課程には、読書会指導者の役割と機能、読書会の運営、本選びの原則と方法、読書と読解方法、読書能力を向上するテクニックなどに関わる内容が包含されている。

エ. 読書文化祭

市役所、文化局、各種の図書館が読書活動の推進に重大な役割を果たしている。“マカオ読書文化祭”は読書活動の一環として根深く浸透している。文化祭に当たっては、読書フォーラム、本の贈呈式、児童物語コーナ、年長者による新劇、魔術演出、テーマ作文コンテスト、読書コンペなど一連の読書活動が行われる。

2002 年以來毎年行う“図書館ウィーク”がマカオの文化を代表する新しい都市イメージを作っている⁽¹⁷⁾。毎年異なるテーマを設定し、多種多様な活動を通して、マカオに読書の種をまいていく。例えば、2006 年の図書館ウィークでは、よい本の世界へ、少年読書推進、外国語読書計画、歴史講座、図書館旅など 20 項目の活動を行った。

⁽¹⁵⁾ 澳門教育暨青年局. 学校資助計劃.

http://portal.dsej.gov.mo/www/portalspace/discuz/dsej_getcontent_page.php?con=grp_sch/sponsor_list.htm (参照 2012-09-25) .

⁽¹⁶⁾ 澳門教育暨青年局. 讀書會領導人實務培訓課程. <http://www.dsej.gov.mo/caet> (参照 2012-09-25) .

⁽¹⁷⁾ 2012 澳門圖書館周. 民政總署網.

http://www.iacm.gov.mo/c/activity/detail/e8750d19-2e2a-404c-8351-36adb0677d03_library (参照 2012-09-25) .

8. 大韓民国の読書活動

崔 英姫（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

（1）韓国の読書政策

① 読書振興関連法律

韓国では、児童・青少年及び成人の読書能力が低下するにつれ、知識競争力の向上と読書の重要性を強調するため、「図書館及び読書振興法」の全面的な改正に着手すると同時に、これと別に読書振興関連法律の制定を推進してきた。その結果、平成 18 年度に「図書館及び読書振興法」は「図書館法」に改正され、読書振興法は「図書館及び読書振興法」から分離され、「読書文化振興法」として制定されるようになった。引き続き平成 19 年には児童・青少年読書文化振興のための「学校図書館振興法」が制定された。読書振興に関連した各法律の主な内容は、次のとおりである。

＜表 7.8.1＞韓国の読書振興関連法律

| 法律名 | 主要内容 | 備考 |
|----------|--|--|
| 図書館法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館政策の樹立及び推進体系の新しい整備 ・ 地方分権時代を迎えて、地域単位の図書館政策と行政の強化 ・ 図書館情報政策委員会の設置及び運営 ・ 第 12 条読書教育強化 | 2006. 10. 改定 |
| 読書文化振興法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 読書文化振興法 ・ 国家の読書振興政策の根拠の用意 ・ 文化観光部：1 年ごとに国民読書振興基本計画及び年度別計画の樹立 ・ 全国民に読書教育機会の提供 ・ 地域、学校、職場での読書振興 ・ 関連部署間の共助の誘導 | 2006. 12. 制定 2008. 2. 1 次一部改定 2009. 3. 2 次一部改定 |
| 学校図書館振興法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館振興のための国家及び自治体の責務 ・ 教育人的資源部：5 年ごとに学校図書館振興基本計画の樹立及び施行 ・ 学校図書館振興委員会、発展委員会、運営委員会の設置 ・ 読書教育と情報利用教育支援のための細部計画の樹立及び施行 | 2007. 12. 制定 2008. 2. 一部改定 |

② 文化観光部（現、文化体育観光部）の読書振興政策

読書振興関連法律の改正及び制定を背景にして、文化観光部は、平成 19 年を「読書振興の元年」とし、「本を読む社会」を作るための汎国民的な読書文化振興に努力

を尽くしてきた。平成 20 年 5 月には「読書の生活化で国民幸福指数向上及び国家知識競争力強化」というビジョンを土台にし、「読書文化振興基本計画」（平成 21～25 年）を樹立した（＜表 7.8.2＞参考）。この計画は、4 大課題、22 個の細部課題、52 個の単位事業で構成されており、推進方向は、第一に、生涯周期別読書プログラム開発普及と読書情報データベースシステム構築及び運営による読書生活化の支援、第二に、疎外階層の読書活動支援を通じた文化福祉実現、第三に、官民協力による効率性向上である。

＜表 7.8.2＞読書文化振興基本計画

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| ビジョン | 読書の生活化で国民幸福指数向上及び国家知識競争力強化 | | | |
| 目 標 | 国民読書活性化 | | | |
| 4 代課題 | 読書環境造成 | 読書生活化事業の推進 | 読書運動展開 | 疎外階層の読書活動の支援 |
| 単位課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の読書環境造成 ・家庭の読書環境造成 ・保育園・幼稚園の読書環境造成 ・学校の読書環境造成 ・職場の読書環境造成 ・優秀図書の出版及び普及 | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯周期別読書プログラムの開発及び普及 ・全国民対象の無料読書教育実施 ・読書機関と団体間のネットワーク構築 ・読書情報 DB 構築及び運営 ・読書サークルの活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ・各きっかけ別の読書運動 ・多様な媒体を活用した読書運動 ・国内外の優秀事例を活用した読書運動 ・疎外階層対象の読書運動 | <ul style="list-style-type: none"> ・読書障害者の読書活動支援 ・老人の読書活動支援 ・兵営での読書活動支援 ・刑務所での読書活動支援 ・福祉施設での読書活動支援 ・多文化家庭の読書活動支援 ・読書障害者関連制度の整備 |

③ 教育人的資源部(現、教育科学技術部)の読書振興政策

教育人的資源部でも、読書教育の活性化のための多様な政策を開発してきており、各市・道単位教育庁ごとに読書教育のための多様な施策を立て、学校読書教育に対する勧告及び管理監督をしている。

教育人的資源部は平成 14 年 8 月、読書環境造成のため「学校図書館活性化総合方案」を樹立し、平成 15 年度から 19 年度にかけての 5 年間、すべての生徒の自己主導的な探究学習ができる環境造成のための「良い学校図書館作り」の 4 代課題として、＜課題 1＞学校図書館基本施設及び蔵書拡充、＜課題 2＞図書館活用プログラム強化、＜課題 3＞専門担当管理人材配置及び専門性向上、＜課題 4＞学校図書館支援における官民協力体制の構築を推進した。平成 18 年度からは学校で論述教育を実施

するようにし、そして平成 19 年度高校新入生からは生徒たちの多様な読書活動を学生部に詳しく記録し、大学の学生選抜時の補充資料として活用するようにする、いわば「読書履歴綴り」を実施した。平成 21 年には読書教育及び学校図書館総合推進方向を発表した。これは、読みたい本を楽しく読んで、自由に討論する活動を通じて生徒一人一人の全人的成長を助け、児童生徒の論理力、批判力及び表現力を向上させるための「本を読む学校文化」を作り出そうとする方策であった。しかし未だ韓国の学校図書館は、司書教諭や学校司書の未配置、貧弱な予算、法的根拠及び制度的装置の不備など様々な問題を抱えている。また、大体の学校図書館が、入試競争体制の教育制度により教科課程から切り離れ、単に教養図書や参考図書を備え貸し出しする事務だけ行っており、生徒に試験勉強のための場所を提供する学習室の水準に止まっているなど、学校図書館として機能していない現状である。

平成 22 年、教育科学技術部は「読書教育総合支援システム」を導入し、生徒が読書感想文などの読書履歴をサイト（<http://www.reading.go.kr/>）に入力する制度を設け、入学事情官が大学入学時の参考資料に活用するようにしている。これに対応して、各市・道教育庁も教育科学技術部の方針により多様な読書振興政策を樹立し推進している。読書教育総合支援システムは、受験のみに没頭してきた今までの学校教育現状に正面から立ち向かい、読書を大学入試と関係することにより高校の読書教育を活性化しようとする教育当局の意志を示したものであるが、読書教育の破綻を呼び起こす余地があるなどの問題を抱えている。

（２）韓国の読書振興活動－平成 24 年度の活動を中心に

韓国の文化体育観光部（以下、文化部）は、平成 24 年度を「読書の年」として指定し、汎国民的な読書振興活動を推進し実行している。主要事業は、一つ目に、文化資源連係読書振興プログラムの推進、二つ目に、脆弱階層や共生発展のための読書活動支援、三つ目に、生活の中の国民読書の環境作り、四つ目に、読書サークルと民間企業団体のネットワーク構築、五つ目に、言論機関及びニューメディアと連係した読書キャンペーンの展開である。これらの読書振興プログラムを幾つか紹介すると、次のとおりである。

<表 7.8.3>2012 年「読書の年」の読書文化振興プログラム

| 事業 | プログラム名 | 主要内容 | 日程 | 主管 |
|-----------------------------|------------------------|--|--------|----------------------------|
| 文化資源 連係 読書振興 プログラム | 生活の中の 「道上の人文 学」 | ・韓国の人文学名著 20 選を選定し、選定された名著と関りがある場所の訪問及び人文学講演 | 3～11 月 | 国立中央 図書館 司書教育 文化課 |
| | 世界遺産 連係体験 プログラム・ | ・ユネスコ世界遺産と連係したテーマ別観覧及び体験、人文学特講—多文化、北朝鮮離脱住民、低所得層などの文化 | 4～11 月 | 文化財庁 |

| | | | | |
|----------------------|-------------------------------|--|-------------|--------------------------------|
| | 人文学特講 | 疎外階層青少年、外国人対象 ・宮廷、郷校及び書院内文化講座と読書 | 5月 | |
| 脆弱階層との共生発展のための読書活動支援 | 脆弱階層読書活動集中支援 | ・「本を読み聞かせる銀色文化奉仕団」活動支援 ・ブックスタート運動展開：地方自治体228箇所の中で60%参加 | 年中 | 文化部 図書館 政策課 |
| | 訪問する障害者読書運動 | ・障害者対象の「作家との読書文学紀行」 ・討論会、朗読会、展示会など「障害者読書フォーラム」 | 4～11月 9月 | 国立図書館 障害者図書館 支援センター |
| | 多文化資料収集拡大及び読書コンテンツ開発普及 | ・国内多文化人のための、韓国及びアジアの昔話の優秀絵本動画コンテンツの製作・普及(約130編) ・アジア昔話翻訳書の出版・普及(50種) | 3～10月 | 国立 子ども 青少年 図書館 |
| | 兵営読書活性化及び矯正施設読書活性化支援 | ・国防部と文化部の兵営読書活性化支援協議体の構成及び読書プログラム支援：＜国防部＞1日読書時間確保、＜文化部＞示範部隊選定・読書活動支援 ・刑務所、少年院への支援 | 3～12月 | 愛の本 運動本部、 韓国刊行物 倫理委員会 |
| 生活中的国民読書の雰囲気拡散 | 読書マラソン大会 | ・読書1頁を1m走りとして認定し、読んだ本の頁数と感想文を読書長に記録：フルコース42,195頁、ハーフコース21,000頁、短縮コース10,000頁 | 4～11月 | 文化部 図書館 政策課 |
| メディアと連係した読書キャンペーンの展開 | 「今は読書の時間」など 2012読書キャンペーン展開 | ・ラジオ及びTVで「〇〇時、今は読書の時間です」という時報放送 ・2012年、全国民一日20分・一年12冊読書プロジェクト展開 | 年中 | 文化部 図書館 政策課 |
| | ウェブとソーシャルメディアの活用 | ・オンラインポータル及びツイッター、フェイスブック、ブログなどを活用した参加型読書キャンペーンの展開 | 年中 | 文化部 図書館 政策課 |

<参考資料>

이석범 (イー・ソクボム) 「読書文化振興基本計画案の方向展開と改善方向」、図書館文化、第49巻第8号、2000年8月. p.43-48

이만수 (イー・マンズ) 「読書教育のための学校図書館行事の活性化方案」、韓国図書館情報学会誌、第40巻第1号、2009年3月. p.385-404

황금숙 (ファン・グムスク) ほか「子ども青少年読書文化振興先進化方案研究」、韓国文献情報学会誌、第45巻第2号、2011年5月. p.277-308

교육과학기술부 (教育科学技術部)、<http://www.mest.go.kr/>

문화체육관광부 (文化体育観光部)、<http://www.mcst.go.kr/>

2012년 독서의 해 (2012読書の年)、<http://2012.read-kpec.or.kr/>